ぶどう（大粒種）（露地、雨よけ）

シャインマスカット	発芽	展葉	開花始	満開	落花	収穫盛
	4.28	5.3	6.10	6.16	6.19	10.11

平年値（東根市若木）北村山農業技術普及課調査

散布時期	適用病害虫名	散布薬剤名及び散布濃度（薬液100ℓ当たり）		農薬使用基準 収穫前使用時期	農薬使用基準 総使用回数	10a当たり散布量	注意事項（収穫前日数　総使用回数）を表す	散布日（月／日）	使用薬剤	使用濃度
3月下旬（休眠期）	黒とう病 晩腐病 （ブドウトラカミキリ）	1．デランフロアブル	200倍（500cc）	休眠期	1回	300ℓ	1．休眠期の防除は、必ず粗皮削りをしてから枝の先まで洗うようにていねいに散布する。 2．前年の房の取り残し部分及び巻きひげなどの除去は晩腐病防除に重要であるから徹底する。 3．前年ブドウトラカミキリの秋散布を実施しない園では、この時期トラサイドA乳剤　300倍（発芽前（休眠期）、2回以内）を加用する。また、周辺の訪花昆虫保護のため3月下旬までに散布を終えること。 4．樹幹害虫対策　ロビンフッド（前日まで、5回以内）を食入孔にノズルを差し込み噴射する。	／		
4月中旬（発芽前）	ハダニ類 サビダニ類	1．石灰硫黄合剤 又は、 クムラス	20倍（5ℓ） 300倍（333g）	発芽前 －	－ －	300ℓ	1．他樹種に飛散させない。	／		
5月上旬（展葉2～3枚） 黒とう病重点防除	黒とう病 べと病 晩腐病 褐斑病 （ツマグロアオカスミカメ）	1．ホライズンドライフロアブル 2．ジマンダイセン水和剤	2,500倍（40g） 1,000倍（100g）	21日前まで 45日前まで	3回以内 2回以内	200ℓ	1．ホライズンドライフロアブルは小豆大以降は散布しない。又、他樹種に飛散させない。 2．ツマグロアオカスミカメの発生が心配される園地では、ウララDF 2,000倍（開花前まで、2回以内）を散布する。	／		
5月中旬	黒とう病 べと病	1．デランフロアブル	1,000倍（100cc）	落弁期まで（但し、収穫75日前まで）	2回以内	200ℓ		／		
	この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする									
5月下旬	べと病 フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	1．リドミルゴールドMZ 2．アグロスリン水和剤※1	1,000倍（100g） 1,000倍（100g）	45日前まで 21日前まで	2回以内 5回以内	200ℓ	1．リドミルゴールドMZは他樹種に飛散させない。	／		
状況	スカシバ類	1．パダンSG水溶剤	1,500倍（66.6g）	14日前まで	2回以内	200ℓ	1．散布は樹幹散布とし、他樹種に飛散させない。	／		
開花直前（6月上旬）	べと病 黒とう病 灰色かび病 うどんこ病 ハダニ類	1．ランマンフロアブル 2．オンリーワンフロアブル 3．ダニオーテフロアブル	2,000倍（50cc） 2,000倍（50cc） 2,000倍（50cc）	14日前まで 前日まで 前日まで	3回以内 3回以内 1回	300ℓ	1．コウモリガの発生が見られる園では樹幹周辺を清掃し、捕殺する。 2．着粒不良の恐れがあるので、満開期の散布は避ける。 3．ランマンフロアブルは他樹種に飛散させない。	／		
落花直後（6月中～下旬）	黒とう病 褐斑病 さび病 灰色かび病 べと病 チャノキイロアザミウマ ハスモンヨトウ ブドウサビダニ	1．パレード15フロアブル 2．ベトファイター顆粒水和剤 3．グレーシアフロアブル	2,000倍（50cc） 2,000倍（50g） 4,000倍（25cc）	7日前まで 30日前まで 7日前まで	2回以内 3回以内 2回以内	300ℓ	1．前年晩腐病の発生が見られた園では、本剤散布後直ちに笠掛をする。 2．果粉溶脱防止のため、大きさが小豆大までとする。又、浸透性のある展着剤は使用しない。 3．他樹種に飛散させない。	／		
7月上旬	べと病 アザミウマ類 コガネムシ類	1．ランマンフロアブル 2．アーデントフロアブル※1	2,000倍（50cc） 2,000倍（50cc）	14日前まで 前日まで	3回以内 4回以内	300ℓ	**1．ランマンフロアブルは他樹種に飛散させない。** 2．晩腐病、灰色かび病の発生が見られる園ではファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍（14日前まで、3回以内）を混用する。	／		
7月中旬 アザミウマ重点防除	褐斑病・すす点病 晩腐病 灰色かび病 黒とう病 うどんこ病 さび病 カメムシ類 コガネムシ類 チャノキイロアザミウマ （ハダニ類） （べと病）	1．オンリーワンフロアブル 2．テッパン液剤	2,000倍（50cc） 2,000倍（50cc）	前日まで 前日まで	3回以内 2回以内	250ℓ	1．ハダニの発生がみられる園ではコロマイト水和剤2,000倍（7日前まで、2回以内）を加用する。 2．降雨が続く場合にはべと病対策として、エトフィンフロアブル 1,000倍（7日前まで、4回以内）を散布する。	／		
7月下旬	晩腐病、黒とう病 灰色かび病、さび病 アザミウマ類 コガネムシ類 ハダニ類 フタテンヒメヨコバイ	1．ファンタジスタ顆粒水和剤 2．アーデントフロアブル※1	3,000倍（33.3g） 2,000倍（50cc）	14日前まで 前日まで	3回以内 4回以内	250ℓ	**1．この回以降デラウェアなどに飛散しないように特に注意する。**	／		
8月中旬（袋かけ後）	べと病・黒とう病 さび病 チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類	1．ICボルドー66D 2．ダントツ水溶剤	50倍（2kg） 2,000倍（50g）	発病前～発病初期 前日まで	－ 3回以内	250ℓ	1．他樹種へ飛散させない。 2．ICボルドー66Dに替えてクプロシールド 1,000倍を散布してもよい。	／		
収穫後	べと病 さび病	1．ICボルドー66D	50倍（2kg）	発病前～発病初期	－	250ℓ		／		
休眠期	ブドウトラカミキリ	1．ガットキラー乳剤	100倍（1ℓ）	休眠期（落葉後～萌芽前）	2回以内	300ℓ		／		

収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。
ハウスや雨よけ栽培では暦日でなく生育に合わせて散布する。
農薬登録上の大粒種とは、デラウェア、やまぶどう以外の品種をさす。
※1 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。